

# <ドローン・ジャパン株式会社>

## 【ドローンリモセン連動散布サービス】



ドローンを使った農業技術を連動させて効果を得る

a) 生育観察（リモートセンシング）のドローンと  
b) 散布作業のドローン

観察 ⇒ 作業 で農作業の最適化

**撮影**

リモートセンシング(RS)用ドローン

**散布**

散布用ドローン

### 【利用分野】

農業散布	肥料散布	播種	受粉	農産物運搬	ほ場センシング	鳥獣害対策
------	------	----	----	-------	---------	-------

### ☞ 連絡先

ドローン・ジャパン株式会社  
 詳細： <https://www.drone-j.com/dj-agricultural-service/>  
 問合せ： <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1537255904BxsNhEiE>

### 【価格】

¥ 散布3,850円~/10a リモセン22,000円~/年

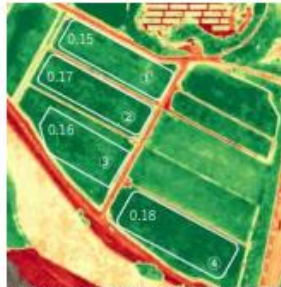
### 【製品説明】

- リモートセンシングによる解析データを元に、ドローンを使った散布作業をおこないます。
- ドローンで空撮した情報より、圃場マップを作成します。
- 適切な管理手法を提案します。

## 【実施事例】

### リモートセンシングと追肥の連動

	R3水稲	R4水稲	R4小麦
	ほしじるし	つきあかり	あやひかり
	玄米重	玄米重	精麦重
	kg/10a	kg/10a	kg/10a
調査方法	坪刈り	乾燥機バッチ	坪刈り
横行区	605	465	420
実証区	620	492	439
増収率	2.4%	5.8%	4.5%
	目標未達	目標達成	概ね達成



## 【事例説明】

- 【ドローンリモートセンシングとドローン追肥散布の連動】  
 水稲の穂揃い期にリモートセンシングを行い、生育不足の圃場にドローン追肥を行いました（RS散布連動）。増収目標5%に対して、令和3年度の「ほしじるし」では2.4%の増収効果がありましたが、令和4年度の「つきあかり」では5.8%の増収効果が得られました。また、小麦の「あやひかり」では幼穂形成期のリモートセンシングに基づいた追肥判断により、4.5%の増収が実現しました。この方法では一般的なRGBカメラで解析されるVARIを利用しており、高価なマルチスペクトルカメラは必要ありません。迅速な解析結果の提供も可能であり、有用な手法として他の作物にも適用を広げることを目指しています。
- 【カメムシ被害の低減】  
 カメムシの発生時期に合わせて広域防除を行いました。出穂期を予測し、1週間後に順次防除を行うスケジュールを立て、計画通りに散布作業を進めました。着色米の割合は、実証区では令和3年度が0.8%、令和4年度が1.6%と地域平均の1/3以下に低減されました。カメムシの確認後は直ちにドローンで防除を行うことができ、適期かつ効果的な防除を実施し、カメムシの被害を抑えるとともに、生産者に高い防除意識を醸成しました。

### カメムシ被害の低減

